

大阪市長 松井 一郎 様
大阪府知事 吉村 洋文 様
大阪市会議長 丹野 壮治 様
大阪府議会議員 鈴木 憲 様
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 会長 十倉 雅和 様

提出年月日:2021 年 6 月 28 日

夢洲 2 区の湿地の保存についての要望書

公益社団法人大阪自然環境保全協会 会長 夏原 由博



夢洲第 2 区の湿地の保存について、下記の通り要望します。7月6日までにご回答くださるようお願いいたします。

1. 要望内容

第 2 区のヨシ群落および改変工事に未着手で現在湿地や池になっている部分について、工事を中止して、動植物の生息・生育場所を保全してください。

2. 説明

大阪市立自然史博物館は、2021 年 6 月 25 日付で、2025 年万博会場・夢洲において 大阪府で「絶滅」とされた水草「カワツルモ」を再発見というプレスリリースを行いました。これに先立つ 2020 年 8 月 28 日に、関西自然保護機構が、第 2 区のヨシ原と隣接する水辺環境の保全を求める要望書を提出し、当協会も 2020 年 11 月 27 日付で、別紙の要望書を提出しました。

しかし、これまでのところ、ご回答をいただけていません。

2 区の池では、今回発表されたカワツルモだけでなく、ツツイトモなど希少な水草の生育が確認されています。また毎年、絶滅危惧種のツクシガモの本州最大の群れが越冬しています。ところが、ヨシ原と隣接する湿地部分の埋立が開始されたことによって、貴重な水草や水鳥の生息・生育場所が失われようとしています。いのち輝く 2025 年万博が、いのちを奪うことのないようにお願いします。

以上